

専門【出題意図】

問題 1

1 日本の社会保障における社会保険の役割について述べなさい。

日本の社会保障は、5つの社会保険制度を中核として構築されている。年金保険、医療保険、雇用保険、労災保険、介護保険である。この5つの社会保険のそれぞれの目的、役割と課題について簡潔に記述することを通じて、日本の社会保障の基本的な枠組みと、課題とされている論点について知識の有無、理解度を問うものである。

2 とりわけ、制度発足後四半世紀となる介護保険の現状と課題を述べ、改革の方向性についてのあなたの考えを述べなさい。

2000年に発足した介護保険は、認知症高齢者をはじめとする要介護高齢者に社会保険方式で介護保障を進め、介護問題による離職を防止するなど介護問題の社会的解決をめざし、もって増大する高齢者医療を抑制することなどをも目的とした画期的な制度として始まった。しかしながら、制度発足後四半世紀を経て、介護給付費の増大によって、保険料の上昇や自己負担額の増額、軽度のサービスの抑制などが近時の課題となっている。なくてはならない制度である介護保険を持続可能な制度として維持発展させるにはどのような方策があるかを問うものである。

問題 2

【出題意図】

大学院で社会福祉学を学ぶにあたり、ソーシャルワークに関する基本的な知識を身につけていることは最低条件であると考えます。

そのため、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義を題材にしている。その中でも「生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける」というソーシャルワーカーの役割の理解ができているかを問うている問題です。

ソーシャルワークは、社会システム論や生態学を取り入れて理論化されています。このような視点が理解できているかは、解答において生活課題を抱えた人たちが、彼らを取り巻く環境における様々なシステムとの相互作用の結果、生活問題が生起していることについての論述の有無とその内容によって、この点に関する理解度を判断することができます。

こうした生活課題解決への働きかけは、当然生活課題を抱えた人に対して、そしてその人達を取り巻く環境、特にそうした生活課題を生起させているシステムに対して行われるものである。このように生活課題の解決のためのクライアントシステム、環境システムへの働きかけを、任意の例を提示しながら説明することができていれば、ソーシャルワーク実践について理解する力量があることが判断されます。